



2027年3月期 第1四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 小野薬品工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4528

URL <https://www.ono-pharma.com/ja>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 滝野 十一

問合せ先責任者（役職名） 広報部長

（氏名） 井村 竜太

（TEL）（06）6263-5670

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

IFRS（フル）ベース

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	116,160	△8.9	30,653	39.4	31,250	38.0	24,163	37.0	24,151	36.7	34,888	413.3
2026年3月期第1四半期	127,536	8.4	21,995	△28.3	22,650	△32.0	17,631	△29.0	17,673	△28.7	6,797	△81.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	51.40	51.38
2026年3月期第1四半期	37.62	37.58

コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	116,160	△8.9	38,681	22.5	30,221	21.9	64.31
2026年3月期第1四半期	127,536	8.4	31,566	△10.1	24,799	△13.7	52.79

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,084,413	872,740	866,831	79.9
2026年3月期	1,106,515	856,643	850,727	76.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

IFRS（フル）ベース

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	455,000	△11.8	94,000	1.9	94,000	1.5	71,000	1.6	71,000	1.8	151.09

コアベース

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	455,000	△11.8	124,000	△9.6	93,000	△10.1	197.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	498,692,800株	2026年3月期	498,692,800株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	28,785,627株	2026年3月期	28,785,489株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	469,904,825株	2026年3月期1Q	469,771,044株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数および期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当第1四半期の経営成績の概況	2
(2) 当第1四半期の財政状態の概況	4
(3) 当第1四半期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 主な製品の売上収益と予想	13
(2) 売上収益の内訳	13
(3) 地域別の売上収益に関する情報	13
(4) 開発パイプラインの進捗状況	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当第1四半期の経営成績の概況

①業績の概況【コアベース】

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	2027年3月期 第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	127,536	116,160	△11,376	△8.9%
コア営業利益	31,566	38,681	7,116	22.5%
コア四半期利益 (親会社の所有者帰属)	24,799	30,221	5,422	21.9%

【売上収益】

売上収益は、前年同期比114億円（8.9%）減収の1,162億円となりました。

＜国内製品商品売上＞

国内製品商品売上は前年同期比260億円（35.0%）減収の481億円となりました。

薬価改定のマイナス影響や、アストラゼネカ社との「フォシーガ錠」に係る共同販売契約の終了に伴い「フォシーガ錠」の売上計上がなくなった（前年同期：251億円）ことに加え、抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、競争環境の激化等により、前年同期比12億円（4.1%）減収の282億円となりました。

一方、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」は、市場浸透の進展により前年同期比4億円（16.9%）増収の26億円、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ静注透析用」は、ガイドラインに基づくCKD-MBD（慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常）管理の浸透等により前年同期比2億円（10.0%）増収の24億円、抗悪性腫瘍剤「ビラフトビカブセル」は、大腸がん1次治療での使用拡大により前年同期比7億円（51.1%）増収の20億円となりました。

＜海外製品商品売上＞

海外製品商品売上は前年同期比61億円（44.8%）増収の198億円となりました。

デサイフェラ社が販売する消化管間質腫瘍（GIST）治療剤「キンロック」は、市場浸透の進展などにより前年同期比28億円（31.5%）増収の117億円、腱滑膜巨細胞腫（TGCT）治療剤「ロンビムザ」は、既存患者への継続投与に加えて、欧州を含む販売エリアの拡大などにより前年同期比31億円（289.3%）増収の41億円となりました。

＜ロイヤルティ・その他＞

ロイヤルティ・その他は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社などからのロイヤルティ収入が増加したことにより、前年同期比85億円（21.2%）増収の482億円となりました。

【コア営業利益】

コア営業利益は、前年同期比71億円（22.5%）増益の387億円となりました。

- ・売上原価は、「フォシーガ錠」の共同販売契約の終了による売上減少などにより、前年同期比75億円（26.5%）減少の206億円となりました。
- ・研究開発費は、研究に係る費用が増加した一方、前年同期に計上したLigaChem Biosciences社との創薬提携契約に係る費用およびブリストル・マイヤーズ スクイブ社への開発一時費用の反動減などにより、前年同期比38億円（10.6%）減少の324億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、「フォシーガ錠」の共同販売契約の終了によるコ・プロモーション費用の減少に加え、経費効率化を推進したことなどにより、前年同期比72億円（23.1%）減少の239億円となりました。

【コア四半期利益】（親会社の所有者帰属）

コア四半期利益（親会社所有者帰属）は、税引前四半期利益の増益に伴い、前年同期比54億円（21.9%）増益の302億円となりました。

②業績の概況【IFRS（フル）ベース】

当第1四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。

営業利益、税引前四半期利益および四半期利益（親会社の所有者帰属）はいずれも前年同期比で増益となりました。

（単位：百万円）

	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	2027年3月期 第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	127,536	116,160	△11,376	△8.9%
営業利益	21,995	30,653	8,658	39.4%
税引前四半期利益	22,650	31,250	8,600	38.0%
四半期利益 （親会社の所有者帰属）	17,673	24,151	6,478	36.7%

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「無形資産償却費」「公正価値評価された棚卸資産の費用化分」などが含まれます。

当第1四半期における「無形資産償却費」は60億円（前年同期：62億円）、「公正価値評価された棚卸資産の費用化分」は20億円（前年同期：27億円）となりました。

IFRS（フルベース）の業績からコアベースの業績への調整表は、以下のとおりです。

（単位：億円）

	IFRS （フル）ベース	コア調整項目		コアベース
		無形資産に 係る償却費	その他	
売上収益	1,162			1,162
売上原価	△287	60	20	△206
売上総利益	875	60	20	955
販売費及び一般管理費	△239			△239
研究開発費	△324			△324
その他の収益	1			1
その他の費用	△6			△6
営業利益	307	60	20	387
営業利益率	26.4%			33.3%
金融収益	14			14
金融費用	△8			△8
税引前四半期利益	313	60	20	393
法人所得税	△71	△15	△5	△90
四半期利益	242	45	15	302
非支配持分	0			0
親会社持分四半期利益	242	45	15	302

(2) 当第1四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2026年3月期 連結会計年度末	2027年3月期 第1四半期 連結会計期間末	対前連結会計年度末 増減額
資産合計	1,106,515	1,084,413	△22,102
親会社の所有者に帰属する持分	850,727	866,831	16,104
親会社所有者帰属持分比率	76.9%	79.9%	
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,810.44円	1,844.69円	

資産合計は、前期末に比べ221億円減少の1兆844億円となりました。

流動資産は、現金及び現金同等物や売上債権及びその他の債権の減少などから318億円減少の4,366億円となりました。

非流動資産は、投資有価証券の増加などから97億円増加の6,479億円となりました。

負債は、未払法人所得税や仕入債務及びその他の債務の減少などから382億円減少の2,117億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、剰余金の配当があった一方で、四半期利益の計上やその他の資本の構成要素の増加などから161億円増加の8,668億円となりました。

(3) 当第1四半期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	2027年3月期 第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額
現金及び現金同等物の期首残高	204,567	237,046	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,373	1,053	△2,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,043	3,423	46,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,757	△21,850	3,906
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△65,426	△17,374	
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	△150	△130	
現金及び現金同等物の四半期末残高	138,991	219,542	

当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は、174億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人所得税等の支払額302億円などがあった一方で、税引前四半期利益313億円などがあった結果、11億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形資産の取得による支出36億円や有形固定資産の取得による支出20億円などがあった一方で、無形資産の売却による収入84億円などがあった結果、34億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額175億円や長期借入金の返済による支出75億円などがあった結果、219億円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

通期の業績につきましては、2026年5月8日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示により比較可能性を向上させ、株主、投資家や取引先など様々なステークホルダーの皆さまの利便性をはかることを目的として、2014年3月期から国際会計基準（IFRS会計基準）を適用しております。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	237,046	219,542
売上債権及びその他の債権	145,936	130,994
有価証券	60	80
その他の金融資産	1,565	1,575
棚卸資産	57,451	55,754
その他の流動資産	26,249	28,606
流動資産合計	468,308	436,551
非流動資産		
有形固定資産	101,419	100,898
のれん	22,654	23,009
無形資産	353,581	354,955
投資有価証券	93,193	102,558
その他の金融資産	8,109	8,064
繰延税金資産	55,759	55,001
その他の非流動資産	3,492	3,375
非流動資産合計	638,206	647,862
資産合計	1,106,515	1,084,413

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	62,951	49,376
借入金	35,389	39,420
リース負債	3,078	2,890
その他の金融負債	1,472	4,121
未払法人所得税	30,778	9,044
その他の流動負債	29,976	28,110
流動負債合計	163,645	132,961
非流動負債		
借入金	75,000	67,500
リース負債	7,468	7,290
その他の金融負債	0	0
退職給付に係る負債	2,234	2,505
繰延税金負債	909	847
その他の非流動負債	616	570
非流動負債合計	86,227	78,712
負債合計	249,871	211,673
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,378	17,389
自己株式	△62,770	△62,770
その他の資本の構成要素	48,674	59,497
利益剰余金	830,086	835,356
親会社の所有者に帰属する持分	850,727	866,831
非支配持分	5,917	5,909
資本合計	856,643	872,740
負債及び資本合計	1,106,515	1,084,413

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	127,536	116,160
売上原価	△37,013	△28,678
売上総利益	90,523	87,482
販売費及び一般管理費	△31,086	△23,898
研究開発費	△36,252	△32,404
その他の収益	113	85
その他の費用	△1,303	△611
営業利益	21,995	30,653
金融収益	1,428	1,381
金融費用	△773	△783
税引前四半期利益	22,650	31,250
法人所得税	△5,019	△7,087
四半期利益	17,631	24,163
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	17,673	24,151
非支配持分	△42	12
四半期利益	17,631	24,163
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	37.62	51.40
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	37.58	51.38

要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	17,631	24,163
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	1,648	5,786
確定給付制度の再測定	11	△33
純損益に振り替えられることのない 項目合計	1,660	5,752
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	△2	—
在外営業活動体の換算差額	△10,510	4,965
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値 の純変動	△1,981	7
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	△12,493	4,972
その他の包括利益合計	△10,834	10,724
四半期包括利益合計	6,797	34,888
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	6,839	34,889
非支配持分	△41	△1
四半期包括利益合計	6,797	34,888

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分		
2025年4月1日残高	17,358	17,458	△63,063	19,789	790,908	782,451	5,751	788,203
四半期利益					17,673	17,673	△42	17,631
その他の包括利益				△10,834		△10,834	1	△10,834
四半期包括利益合計	—	—	—	△10,834	17,673	6,839	△41	6,797
剰余金の配当					△18,791	△18,791	△6	△18,797
株式報酬取引		12				12		12
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△189	189	—		—
非金融資産への振替				2,127		2,127		2,127
所有者との取引額等合計	—	12	—	1,937	△18,602	△16,652	△6	△16,658
2025年6月30日残高	17,358	17,470	△63,063	10,892	789,980	772,638	5,704	778,342

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分		
2026年4月1日残高	17,358	17,378	△62,770	48,674	830,086	850,727	5,917	856,643
四半期利益					24,151	24,151	12	24,163
その他の包括利益				10,738		10,738	△14	10,724
四半期包括利益合計	—	—	—	10,738	24,151	34,889	△1	34,888
自己株式の取得			△0			△0		△0
剰余金の配当					△18,796	△18,796	△6	△18,803
株式報酬取引		12				12		12
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				85	△85	—		—
所有者との取引額等合計	—	12	△0	85	△18,881	△18,785	△6	△18,792
2026年6月30日残高	17,358	17,389	△62,770	59,497	835,356	866,831	5,909	872,740

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	22,650	31,250
減価償却費及び償却費	9,238	8,980
受取利息及び受取配当金	△1,427	△1,303
支払利息	571	584
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,592	1,994
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△8,061	5,379
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△25,079	△13,035
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	90	222
未払消費税等の増減額(△は減少)	5	△2,584
その他	5,173	△783
小計	6,752	30,705
利息の受取額	291	159
配当金の受取額	949	1,010
利息の支払額	△571	△584
法人所得税等の支払額	△4,048	△30,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,373	1,053
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,250	△1,989
有形固定資産の売却による収入	0	8
無形資産の取得による支出	△45,792	△3,640
無形資産の売却による収入	0	8,401
投資の取得による支出	△170	△834
投資の売却及び償還による収入	5,383	1,736
定期預金の払戻による収入	386	—
その他	△600	△259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,043	3,423
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△17,396	△17,466
非支配持分への配当金の支払額	△6	△6
短期借入金の純増減額	—	3,947
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
リース負債の返済による支出	△854	△824
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,757	△21,850
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,426	△17,374
現金及び現金同等物の期首残高	204,567	237,046
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	△150	△130
現金及び現金同等物の四半期末残高	138,991	219,542

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

	2027年3月期 第1四半期連結累計期間			当連結会計年度		
製品名	実績	前年同期比		予想	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
【国内】						
オプジーボ点滴静注	282	△12	△4.1%	1,200	57	5.0%
オレンシア皮下注	48	△22	△31.6%	190	△76	△28.6%
ベレキシブル錠	32	1	4.6%	120	1	0.9%
パーサビブ静注透析用	24	2	10.0%	100	10	11.2%
オンジェンティス錠	26	4	16.9%	100	10	11.5%
グラクティブ錠	31	△4	△11.8%	95	△37	△28.1%
ビラフトビカプセル	20	7	51.1%	85	29	51.5%
カイプロリス点滴静注用	18	△2	△12.0%	70	△5	△6.6%
【海外】						
オプジーボ	35	2	7.3%	130	△12	△8.2%
キンロック	117	28	31.5%	430	46	12.1%
ロンビムザ	41	31	289.3%	190	107	129.4%

(注) 1. 国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。

2. 海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

(2) 売上収益の内訳

(単位：億円)

	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	2027年3月期 第1四半期連結累計期間
製品商品	878	679
ロイヤルティ・その他	398	482
合計	1,275	1,162

(注) 「ロイヤルティ・その他」の中には、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社からの「オプジーボ」に係るロイヤルティ収入が、前第1四半期連結累計期間には292億円、当第1四半期連結累計期間には347億円、メルク社からの「Keytruda®」に係るロイヤルティ収入が、前第1四半期連結累計期間には65億円、当第1四半期連結累計期間には79億円、それぞれ含まれております。

(3) 地域別の売上収益に関する情報

(単位：億円)

	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	2027年3月期 第1四半期連結累計期間
日本	753	491
米国	450	581
アジア	45	44
欧州	24	41
その他	4	4
合計	1,275	1,162

(注) 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(4) 開発パイプラインの進捗状況

2026年7月31日現在、当社が自社（100%子会社を含む）あるいはパートナーと共同で臨床開発している、あるいは将来において臨床開発または商業化を行うことに関する契約上の権利を保有するパイプラインを掲載していますが、全ての開発活動を記載しているものではありません。

- ・当社が販売権を有する地域において、いずれかの適応症で販売承認を取得している場合、製品名も記載しています。
- ・開発ステージについては、当社が権利を有する主な国／地域を記載しています。
- ・治験開始情報の基準は、治験届受理日としています（別途明記される場合を除きます）。
- ・自社／導入について、その品目の共同研究における創薬過程で小野グループが関与しているものを自社とし、商業化の権利を有するものを導入としています。限定的な権利の場合は別途、国／地域を記載しています。

(がん領域)

開発コード 一般名 製品名 (投与経路)	作用機序	予定効能 (併用薬)	開発ステージ	自社／導入
ONO-4538 ニボルマブ オブジーボ (静注剤)	ヒト型抗ヒトPD-1 モノクローナル抗 体	甲状腺未分化がん (レンバチニブ併用)	申請（日本）26/06	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
		肝細胞がん 術後補助療 法	P3	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
		非小細胞肺癌がん 術前術 後補助療法 (化学療法併用)	P3	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
		ラブドイド腫瘍 2次治 療	P2	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
		リヒター症候群 2次治 療	P2	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4059 チラブルチニブ 塩酸塩 ベレキシブル (経口剤)	BTK（ブルトン型チ ロシンキナーゼ） 阻害作用	中枢神経系原発リンパ腫 2次治療以降	申請（米国）25/12	自社
		悪性リンパ腫の中枢神経 系への浸潤（既存治療が 効果不十分または不適當 な場合に限る）	申請（日本）26/06	自社
		中枢神経系原発リンパ腫 2次治療以降	P3	自社
		中枢神経系原発リンパ腫 1次治療	P2	自社
DCC-2618 リプレチニブ QINLOCK (経口剤)	KIT阻害作用	消化管間質腫瘍 2次治 療、KIT エキソン11+ 17/18	P3	自社
		消化管間質腫瘍 4次治 療	申請（日本）26/03 P1	自社

開発コード 一般名 製品名 (投与経路)	作用機序	予定効能 (併用薬)	開発ステージ	自社／導入
ONO-0530 sapablursen (皮下注剤)	TMPRSS6遺伝子発現 阻害作用 (核酸医薬)	真性多血症	P3	導入 (Ionis Pharmaceuticals社)
ONO-4578 (経口剤)	プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮 抗作用	胃がん 1次治療 (標準治療 (オブジー ボ・化学療法) 併用)	P2	自社
		結腸・直腸がん 1次治 療 (オブジーボ・標準治療 併用)	P2	自社
		非小細胞肺がん 2次治 療 (オブジーボ・標準治療 併用)	P1	自社
ONO-4482 relatlimab (静注剤)	抗LAG-3抗体	悪性黒色腫 2次治療以 降 (オブジーボ併用)	P1/2	導入 (日韓台) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7427 (静注剤)	抗CCR8抗体	固形がん (オブジーボ併用)	P1/2	導入 (日韓台) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
DCC-3116 inlexisertib (経口剤)	ULK阻害作用	悪性腫瘍 (リブレチニブ併用)	P1/2	自社
DCC-3009 (経口剤)	Pan-KIT阻害作用	消化管間質腫瘍	P1/2	自社
ONO-4538HSC (皮下注剤)	ヒト型抗ヒトPD-1 モノクローナル抗 体	小児悪性固形腫瘍、類上 皮肉腫	P1/2	導入 (日韓台) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
		固形がん	P1	導入 (日韓台) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
DCC-2812 (経口剤)	GCN2活性化作用	腎細胞がん、尿路上皮が ん、去勢抵抗性前立腺が ん	P1	自社
ONO-4685 Besufetamig (静注剤)	PD-1×CD3二重特異 性抗体	T細胞リンパ腫 2次治療	P1	自社
ONO-8250 (静注剤)	iPS細胞由来HER2 CAR-T細胞療法	HER2陽性固形がん	P1	自社 (フェイト社と共同開発)
ONO-7428 (静注剤)	抗ONCOKINE-1抗体	固形がん	P1	導入 (NEX-I社)
ONO-7429 (静注剤)	抗L1CAM ADC	固形がん	P1	導入 (LigaChem Biosciences社)

(がん領域以外)

開発コード 一般名 製品名 (投与経路)	作用機序	予定効能 (併用薬)	開発ステージ	自社／導入
ONO-2017 セノバメート (経口剤)	電位依存性ナトリウム電流阻害 / GABA _A イオンチャネル機能増強作用	てんかん部分発作	申請 (日本) 25/09	導入 (日本) (エスケー社)
		てんかん部分発作 (小児)	P3	導入 (日本) (エスケー社)
		てんかん強直間代発作	P3	導入 (日本) (エスケー社)
ONO-4059 チラブルチニブ 塩酸塩 ベレキシブル (経口剤)	BTK (ブルトン型チロシンキナーゼ) 阻害作用	ステロイド抵抗性天疱瘡	P3	自社
ONO-8531 povetacicept (皮下注剤)	BAFF/APRIL デュアル拮抗作用	IgA腎症	P3	導入 (日本、韓国) (Vertex Pharmaceuticals社)
		膜性腎症	P2b/3	導入 (日本、韓国) (Vertex Pharmaceuticals社)
ONO-5532 Gel-One (関節注剤)	架橋ヒアルロン酸	変形性膝関節症	P3	導入 (日本) (生化学工業)
		変形性股関節症	P3	導入 (日本) (生化学工業)
DCC-3014 vimseltinib ROMVIMZA (経口剤)	CSF-1受容体阻害作用	腱滑膜巨細胞腫	P2 (日本)	自社
		慢性移植片対宿主病	P2	自社
ONO-2808 (経口剤)	S1P5受容体作動作用	多系統萎縮症	P2	自社
ONO-2020 (経口剤)	エピジェネティクス制御作用	アルツハイマー型認知症	P2	自社
		アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション	P2	自社
ONO-1110 (経口剤)	内因性カンナビノイド制御作用	帯状疱疹後神経痛	P2	自社
		うつ病	P2	自社
		線維筋痛症	P2	自社
		社交不安症	P2	自社
		ハンナ型間質性膀胱炎	P2	自社

開発コード 一般名 製品名 (投与経路)	作用機序	予定効能 (併用薬)	開発ステージ	自社／導入
ONO-4685 Besufetamig (静注剤)	PD-1×CD3二重特異 性抗体	自己免疫疾患	P1	自社
ONO-4915 (静注剤/皮下注 剤)	PD-1×CD19二重特 異性抗体	自己免疫疾患	P1	自社
ONO-2416 (経口剤)		精神疾患	P1	自社
ONO-3310 (経口剤)		腎疾患	P1	自社
ONO-6414 (経口剤)		自己免疫疾患	P1	自社
ONO-3401 (経口剤)		神経疾患	P1	自社

前回決算発表（2026年3月期第4四半期）からの変更点

（がん領域）

開発コード 一般名 製品名 (投与経路)	作用機序	予定効能 (併用薬)	進捗状況または中止理由
ONO-4538HSC (皮下注剤)	ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	小児悪性固形腫瘍、類上皮肉腫	2026年5月、「ONO-4538HSC」について、「小児悪性固形腫瘍および類上皮肉腫」を対象とした国内フェーズⅠ/Ⅱ試験を開始しました。
ONO-4538 ニボルマブ オブジーボ (静注剤)	ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体	甲状腺未分化がん (レンバチニブ併用)	2026年6月、「オブジーボ」について、国内で「根治切除不能な甲状腺未分化がん」を効能・効果とした承認申請を行いました。
ONO-4059 チラブルチニブ 塩酸塩 ベレキシブル (経口剤)	BTK（ブルトン型チロシンキナーゼ）阻害作用	悪性リンパ腫の中樞神経系への浸潤（既存治療が効果不十分または不適当な場合に限る）	2026年6月、BTK阻害剤「ベレキシブル」について、国内で「悪性リンパ腫の中樞神経系への浸潤（既存治療が効果不十分または不適当な場合に限る）」を効能・効果とした承認申請を行いました。

（がん領域以外）

開発コード 一般名 製品名 (投与経路)	作用機序	予定効能 (併用薬)	進捗状況または中止理由
DCC-3014 vimseltinib ROMVIMZA (経口剤)	CSF-1受容体阻害作用	腱滑膜巨細胞腫	2026年7月、「DCC-3014」について、「腱滑膜巨細胞腫」を対象に開発を進めており、国内フェーズⅡ試験を開始しました。
ONO-3401 (経口剤)		神経疾患	2026年7月、「ONO-3401」について、神経疾患を対象に開発を進めており、国内フェーズⅠ試験を開始しました。